

2025年度のご挨拶

本年は阪神・淡路大震災から30年という節目の年となります。神戸市では"BE KOBE"という言葉が、**震災を乗り越えた神戸を象徴するシンボル**となっています。「困っている人を助ける」「困難に挑戦する人を応援する」「協力して前を向く」「人を大事にする」—これらの意味が込められたこの言葉は、人を大切にしてきた神戸だからこそ30年で復興を果たせた証でもあります。神戸朝日病院も、この30年間さまざまな苦難を乗り越えて今日に至っています。震災当時、近隣エリアには甚大な被害が出ており、ライフラインが機能不全に陥る中、当院は傷ついた方々の診療に懸命に取り組みました。自らの家族を失ったにもかかわらず、涙をこらえながら救助活動にあたった職員もおられたと聞いております。私自身、当時高校1年生であった一被災者として、多くの人々の献身的な努力によって神戸が復興を遂げたことに、今なお深い感動を覚えます。**神戸朝日病院は、神戸の医療機関として「医療を通じてBE KOBEに貢献する」ことをミッション**としています。震災30周年を迎えた今、このミッションを皆さまとあらためて共有したいと思います。

また、今年「**2025年問題**」と称される超高齢社会の転換点でもあります。当院が位置する**長田区は高齢化率が高いエリア**ですが、これからの神戸市全体、そして**日本の未来像**でもあります。その視点で考えますと、現在の神戸朝日病院の取り組みは、高齢化時代の医療のあり方への挑戦といえます。**一人ひとりの患者様の人生に寄り添い、尊厳を大切にし、「治し支える医療」（病気を治し生活を支える医療）を提供すること。地域に根ざした取り組みと幅広く質の高い専門診療を融合させること。**これらの積み重ねが、2025年問題、さらには2040年問題への答えに繋がるものと確信しております。4月より呼吸器内科の新設と消化器内科・内視鏡部門の充実を図るため、古郷摩利子医師、阪本万規穂医師を新たにお迎えしました。これからも皆さまとの連携を深めながら、より一層の医療貢献を実践してまいります。

今年度も神戸朝日病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人社団 神戸朝日病院

院長 金 秀基

INTRODUCING OUR NEW DOCTORS

新任医師のご紹介

呼吸器内科部長

こご まりこ

古郷 摩利子 先生 (京都大学 平成24年卒)

日本呼吸器学会 指導医・専門医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医
日本アレルギー学会 専門医
日本喘息学会 喘息専門医

外来担当:月(午前診・夕診)、木(午前診)、
金(午後診)



【古郷先生よりひと言】

咳が続く、痰が出る、息苦しさを覚えるといった症状を専門に診療しております。呼吸器疾患の患者様は、しばしば他の病気を併せ持っていることが多いため、総合内科医として全身を考慮したトータルケアを目指しております。また、アレルギー疾患にも対応しておりますので、お困りの際はどうぞお気軽にご相談ください。

舌下免疫療法
外来でスタート!
アレルギー性鼻炎
(くしゃみ・鼻水・鼻づまり)
などでお困りの方、
まずはお気軽に外来へ
ご相談ください

TOPICS

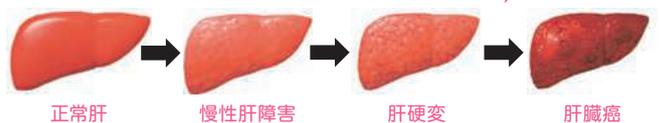
C型肝炎撲滅への取り組み

神戸朝日病院は、兵庫県の肝疾患専門医療機関として「C型肝炎撲滅」に取り組んでいます。C型肝炎は感染者の約70%が慢性肝炎に移行し、**放置すると肝硬変や肝がんへと進行するリスクがあります**。多くの場合、自覚症状が現れないため、早期発見と適切な治療がきわめて重要です。ここ10年来のC型肝炎治療の進歩は目覚ましく、現在は**約2-3か月錠剤を内服するだけで副作用なくほぼ完治する時代**となっています。最新のガイドラインでは、高齢者を含むすべてのC型肝炎の方に対して抗ウイルス治療を行うことが推奨されています。また、国の肝炎医療費助成制度の適用により、患者様の自己負担は月額1~2万円程度となっております。

当院では、医師会や研究会での講演を通じて最新のC型肝炎診療情報を広く伝達するとともに、施設にご入居されている方など、これまでリニューアルされた肝疾患診療にアクセス機会がなかった高齢患者様へ情報提供を進めています。加えて、エリア自治体との連携強化や神戸電鉄広告などを活用した広報活動も行っています。**西神戸エリアには、まだまだ多くのC型肝炎罹患者がおられます。一人でも多くの患者様の治療につなげていけるように地域に根ざしたアプローチを** 継続してまいります。



■慢性肝疾患の自然経過



内科・消化器内科

さかもと まきほ

阪本 万規穂 先生 (京都大学 令和2年卒)

日本消化器内視鏡学会

日本消化器病学会

日本内科学会

外 来 担 当:木 (午後診)

内視鏡対応:火 (午前・午後)、水 (午前・午後)、
木 (午前)、土 (午前・午後)



【阪本先生よりひと言】

患者様にもご自身の病気についてご理解いただき、医療従事者と二人三脚でともに病気に立ち向かっていくことが重要だと考えております。

また内視鏡検査 (胃カメラ・大腸カメラ) につきましては、不安や恥ずかしさを感じられる方も多くいらっしゃいます。小さな不安や疑問でも遠慮なくご相談ください。

丁寧にお応えし、一人ひとりに寄り添った診療を通じて、安心して検査を受けていただけるよう努めてまいります。



TOPICS

「ケアとまちづくり未来会議」に神戸朝日病院が参加しました!

ケアとまちづくり未来会議とは、まちづくりを進めるにあたり、医療・福祉・建築・デザインなどの専門職が集まり、これからの未来に向けて新たなまちづくりの価値を創造することを目的に運営されている会議です。

今回のテーマは、長田の街を「潜る」という企画で、全国から約120名が参加し、活発な議論が行われました。

神戸朝日病院は、「肝疾患専門医療機関として地域活動への取り組み」をテーマに発表を行いました。SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」に掲げられている、「2030年までにウイルス性肝炎に対処する」という目標に賛同し、地域住民や地域の高齢者施設に向けたC型肝炎治療の啓発活動に取り組んでいます。

また、地域活動を通じて、長田地域をより豊かで暮らしやすい場所にしたいと考える方々との出会いもあり、地域で暮らす人々に目線を合わせることの大切さに気付かされました。

「医療が必要なときに、神戸朝日病院はいつもそばにいてくれる」と言っただけのことを目指し、これからも地域と共に歩み、信頼される医療機関としての役割を果たしてまいります。



房王寺アーケードマルシェ開催！名物おでんも大好評

3月1日（土）房王寺ショッピングセンターにて「第2回 房王寺アーケードマルシェ」が開催されました。

日々、患者様との会話の中で感じる地域の魅力や課題。それらをただ受けとめるだけでなく、地域の皆さんと一緒に考え、かたちにできないか。そんな想いから、神戸朝日病院はマルシェという場づくりに取り組んできました。

新鮮な野菜やしらす丼、自家焙煎コーヒーなど多彩な店舗が並び、輪投げやワークショップなど、お子さま向けの企画も充実していました。当院の栄養科が心を込めて作った「名物おでん」は用意した200食が完売しました。

続く3月2日（日）には「なくらワンダーマッピング」や「房王寺一箱古本市」など、地域の風景や文化に触れるイベントが開催されました。トークイベントでは、当院の森井ソーシャルワーカーが登壇し、「人が健康に暮らすための関わり方、空き家を有効活用するための活動について」まちづくりに取り組む地域の方々とは活発な意見交換を行いました。

2日間を通して自治会、老人会の方々や学校関係者と意見を交わし、「このエリアがより豊かになるために」**病院という枠を超えた対話が広がりました。**このマルシェが大切な一歩となったことを嬉しく思います。



紅茶シフォンのヨーグルトクリームサンド

栄養科 栄養士 井波 瑛理

材料（8人分）

- ・シフォンケーキ型（15cm）
- ・卵黄：3個分
- ・グラニュー糖：15g
- ・薄力粉：60g
- ・ホエイ（乳清）：40g
- ・サラダ油：15g
- ・茶葉：10g
- ・卵白：3個分
- ・グラニュー糖：10g
- ◎水切りヨーグルト：60g
- ◎グラニュー糖：10g

アルツハイマー病に代表される認知症の本質的な治療法は未だ明らかではありませんが、その予防として日常生活に取り入れやすい食品である発酵乳製品の摂取が注目されています。

今回ご紹介するデザートで使用したホエイ（乳清：ヨーグルトの表面に出てくる水分）に含まれるペプチドには、短期的な摂取でも加齢性の認知機能低下を改善する作用があることが確認されています。

今回はヨーグルトや紅茶とも相性抜群な4月が旬の果物、苺をトッピングした風味豊かなケーキをご紹介します。ぜひお試しください。

● **栄養量（1人あたり）エネルギー：100Kcal、脂質：4.9g、タンパク質：3.5g**

作り方

- ①ヨーグルト100gをヨーグルト60g、ホエイ40gになるように一晩しっかり水切りする。（水切りは、ボウルにざる、キッチンペーパーをのせて）
- ②卵黄にグラニュー糖15gを入れ、泡立て器で白っぽくなるまで混ぜたらサラダ油、ホエイ、茶葉、薄力粉をふるい入れて混ぜる。
- ③生地を冷蔵庫に入れておく。
- ④卵白にグラニュー糖10gを加え、ツノが立つまで泡立て、3に加える。
- ⑤型に流して180℃に予熱したオーブンで30分焼き、焼き上がったらしっかり冷ます。
- ⑥◎の材料を混ぜたヨーグルトクリームと苺で飾る。



水切りの様子

認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 臨床研修指定（神戸大協力型）
- 日本医療薬学会認定薬剤師研修施設

- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設
- 日本IVR学会専門医修練認定施設
- 神戸市立医療センター中央市民病院
内科専門研修プログラム特別連携施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設

交通のご案内

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町3丁目5-25
 代表電話：(078) 612-5151
 神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分
 神戸市営バス③・⑥・⑪・④⑩・⑫
 「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

